

**平成27年度 国立吉備青少年自然の家教育事業
野外活動研修会**

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

宿泊体験活動実施校が野外活動の指導を行う中で効果的な指導を行い、野外活動における当初の目的を達成するために、実地踏査や実習をとおして技術や指導法を習得する。

2. 事業の概要

（1）期日

- 第1回 4月 6日（日）日帰り
- 第2回 4月29日（水）日帰り
- 第3回 6月14日（日）日帰り
- 第4回 8月22日（日）日帰り

（2）参加者

①募集対象・人数

宿泊体験活動を国立吉備青少年自然の家で行う学校の引率者・各回20人程度

②参加人数

- 第1回 14人
- 第2回 3人
- 第3回 14人
- 第4回 5人

（3）講師等

国立吉備青少年自然の家 企画指導専門職

（4）企画・運営のポイント

- ① 前年度の課題を踏まえ、利用団体の指導者が参加しやすいように4回実施することとし、研修の一部だけでも参加可能とした。
- ② 研修の日程を1日として、効率的に事前準備及び指導、安全管理も含めて行えるように活動プログラムを構成した。また、次の活動につなげる意義や方法についても扱った。
- ③ カッター活動を共通内容として、2コースの内容を設定した。
- ④ 事前に実際のプログラム内容の体験をすることで、参加者の思いや時間の流れ、指導法や声かけのポイントを事前に把握してもらい、実際の活動でねらいに迫ることができるようにした。
- ⑤ ロングウォークのコースは自転車で実地踏査することで、短時間に休憩場所や行程をつかむことができるようにした。また、迷いやすいポイントも地図と照らし合わせて確認できるようにした。
- ⑥ イニシアチブゲームは小学校長期宿泊体験活動の導入で行うことから、補助としての姿勢や指導時の注意点を伝えるようにした。

3. 活動の内容等

(1) 日程

① 晴天時

Aコース		Bコース	
9:00	受付	9:00	受付
9:30	研修1 カッター活動	9:30	研修1 カッター活動
11:00	研修2 野外炊事指導ポイント	11:00	研修2 野外炊事
12:00	昼食	14:00	研修3 イニシアチブゲーム プログラム相談
13:00	研修3 ロングウォーク・オリエンテーリング・ウォークラリーコース実地踏査	16:00	解散
16:00	解散		

② 荒天時

Aコース		Bコース	
9:00	受付	9:00	受付
9:30	研修1 イニシアチブゲーム	9:30	研修1 イニシアチブゲーム
11:00	研修2 野外炊事指導ポイント	11:00	研修2 野外炊事
12:00	昼食	14:00	研修3 イニシアチブゲーム プログラム相談
13:00	研修3 ロングウォーク・オリエンテーリング・ウォークラリーコース確認(自動車)	16:00	解散
15:00	解散		

(2) 活動の状況



【研修1 カッター活動】



【研修1 カッター活動】



【研修2 野外炊事】



【研修2 野外炊事】



【研修3 イニシアチブゲーム】



【研修3 イニシアチブゲーム】

4. 成果・課題

(1) 満足度

満足：61% やや満足：31% やや不満：8%

(2) 参加者の声

- ① 中学1年生の研修の下見もかねて参加をさせていただいた。どのような思いで研修に取り組めばよいか、研修の目当ては何かをしっかりと考えることができた。
- ② 学習指導要領上での野外活動の位置づけについて再確認できた。
- ③ きめ細かい指導をしていただき、子ども達だけでなく大人も見通しを持ちやすい研修だった。支援の手立てを十分に考えて本番を迎えたいと思う。
- ④ 実際に体験でき、しおり作成や子どもへの指示計画の見通しが持てた。
- ⑤ 活動プログラムの要所で大切なポイントの説明があり、分かりやすかった。今後、学校で行う際の参考になった。
- ⑥ 自分自身が体験することができたので、次は子ども達にとって実りのある体験活動になるよう、残りの期間で準備していきたいと思った。

(3) 成果

- ① 参加者が団体を指導する際に、単なる活動を行っただけにとどまらぬように、その活動を通して児童・生徒等の変容を促し活動のねらいに迫る指導ができるように研修を行った。

② それぞれの活動を進める上でのポイントやリスクマネジメント等を参加者の体験を通して、学んでいただくことができた。アンケートにも当日の見通しが持てたなどのコメントが書かれてあった。

③ 参加者と対話をしながら、きめ細かい指導及びプログラム相談対応ができた。

(4) 今後の課題

① 利用団体の引率者が参加しやすいように、研修の設定日や広報の仕方を検討し、参加者の拡大につなげる。

② 参加者の野外活動に関する知識・理解及び技能を更に高めてもらえるよう講師を招聘した研修も含めた事業を実施する。

③ 満足度で、やや不満という意見の中に、終了時間を守ってほしい、プログラム相談の時間を十分確保してほしいなどの意見が見られた。今後は、終了時間の厳守及び余裕のある時間配分、参加者のにとって有意義な研修となるように進めていく。

担当：企画指導専門職 大下 展弘